

「摂津優品（すぐれもん）」認定商品決まる

摂津市と摂津市商工会は、市内にある本社や製造拠点で生産・製造・加工された一定基準を満たす商品を、摂津ブランド「摂津優品（すぐれもん）」として認定する事業を7月から開始した。9月には、認定委員会による審査を経て認定商品が決定。第1回摂津ブランド認定式が行われた。認定商品は6点。株式会社大阪エースの石鹸「男十撫（おとな）せっけん」、三島金型株式会社のゴルフティー「Hawk Tee 85」、株式会社ブライトリバーの釣竿用グリップ「EYESPOT」、株式会社日照の卓上型ミラーボール「Chibi丸ちゃんミラーボール」、株式会社カネタのパーベキューグリル「スライドグリルスター☆丸焼きくん」、株式会社ORBのオーディオアンプ「JADE Soleil」。認定委員



9月に行われた認定委員会による第1回摂津ブランド認定式。

会の委員長は、「認定された6商品はどれも“ものづくりのまち 摂津”をPRするに相応しい商品で、満場一致で認定が決定した。今回の認定は、ゴールではなくスタート。市内外問わず、いかに摂津ブランドの認知度を高めていくかが重要だ。市役所、商工会をはじめとしたオール摂津で協力して、“摂津優品”を育てていきたい」と語った。

バッハ国際コンクールで日本人初の優勝

摂津市出身のオルガニスト・富田一樹さん(28歳)が、昨年7月にドイツのライプツヒで行われた「バッハ国際コンクール」オルガン部門で優勝した。日本人が優勝するのは1950年の創設以来初めて。富田さんもコンクール出場自体が初めてだったが、バッハの想いを汲み取った演奏解釈が評価され、快挙を成し遂げた。また同年8月には摂津市教育文化功労賞を受賞している。

中学生の時にバッハのCDを聴き、オルガン独特の音色や豊かに響くハーモニーに魅力を感じたのがきっかけ。その後、吹田市の教会でオルガニストをしていた父の父親に弾き方を習いはじめた。「中3のとき、宝塚のベガホールで初めて本物のパイプオルガンを触った時は、パイプからの音の風に興奮しました」。



大阪音大卒業後は細々と音楽活動をしてきたが、一念発起してドイツのリューベック音楽大学に留学。演奏経験を積んで今年卒業した。今後は、古い時代の音楽を中心に、日本全国で演奏活動を行う。「楽譜通りに弾くだけではなく、どうすれば音楽が心に響くかを常に考えています。多彩な音色を楽しんでほしいですね」と穏やかな笑顔で話してくれた。

今後の演奏活動の予定

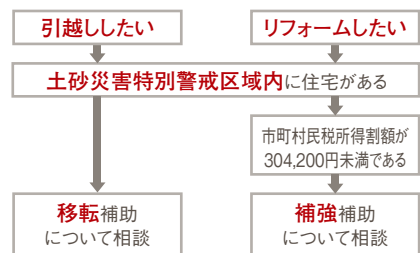
11月9日(木)
オルガンチャリティコンサート 甲南女子大学
12月23日(土・祝)
クリスマスオルガンコンサート2017 ザ・シンフォニーホール
2月17日(土)
富田一樹オルガン・リサイタル 神戸松蔭女子学院大学チャペル

今後の演奏活動の情報などは、FBやHP「富田一樹」で検索。

特別警戒区域 移転・補強に補助制度

茨本市は、府が指定する土砂災害特別警戒区域(以下、特別警戒区域)内にある住宅を対象に、土砂災害の危険から市民と住宅を守るために、区域外への住宅の移転や補強工事に対し、費用の一部を補助する制度を設けた。移転には、住宅撤去費用に最大80.2万円、建設または購入費用に最大415万円を補助。また、補強工

事費用には、対象経費の23%を補助する。対象住宅には要件があるため、まずは茨木市の建設部水路係に相談を。



[相談窓口] 072-620-1667

特別警戒区域に指定された箇所は、茨木市内には約300カ所あり、大阪府のホームページで確認できる。
[大阪府 特別警戒区域]で検索

大阪文化芸術フェス2017 万博記念公園でも開催

10月の1カ月間、大阪府で文化芸術の祭典「大阪文化芸術フェス2017」(大阪府など主催)が行われる。伝統芸能や現代音楽、舞台芸術など、大阪の文化魅力を国内外に広く発信することが目的。イベントは万博記念公園をはじめ府内各所で開催される。万博記念公園では、F1やスーパーカーの展示、パレードのほかハロウィンパーティなどを行う。

「大阪文化芸術ミックスステージ」では、各局テレビ番組とのコラボイベントや大阪が誇る文化・芸術を紹介する特別ステージを設置。



「ナニワのハロウィンパーティ」では、アーティストやアイドルのステージ、仮装コンテストなどの参加型企画、吉本新喜劇の上演など多彩なプログラムを予定。



[万博記念公園で行われるプログラムの一例]

21日(土)・22日(日)	28日(土)・29日(日)
22日(日)	29日(日)
FOOD SONIC 2017 秋の万博記念公園特別編	万博記念公園Circuit 2017
ナニワハロウィンパーティ 2017	

詳しくは、「大阪文化芸術フェス2017」で検索

摂津市 18歳～20歳代の 期日前投票立会人を募集

摂津市では、若い世代に政治や選挙に関心を持ってもらうことを目的として、18歳～20歳代の若い人を対象に、選挙の期日前投票の立会人を一般公募している。これは北摂では初めての試み。5年ほど前から20歳以上を対象に公募をはじめ、昨年選挙権年齢が18歳に引き下げられた際に、公募対象年齢も18歳からとした。今年9月の市議会議員一



般選挙の期日前投票でも、18歳～20歳代に対し募集したが、応募は1件だった。今後、市のHPや新選挙人への選挙の案内通知でも告知し、応募者を増やして若い世代の投票率アップにもつなげたい考えだ。立会人の応募方法の詳細は、市の選挙管理委員会HPなどで確認できる。

「リノベのいばらき」始動

茨本市は、“自分たちでまちの価値を高めるまちづくり”を進めるプロジェクト、「リノベのいばらき」を開始した。拠点となるのは、茨木市商店街にある築90年を超える元子ども服店。市民や学生と一緒に拠点をリノベーション(手を加え価値を高める)し、気軽にDIYを体験できる講座やワークショップなどを行う、リノベーション工房として運営する。市の人口減少に対応すべく、経済活動や社会活動などさまざまな活動に参加す



8月に行われた拠点の解体ワークショップ。

る「活動人口」増加を目的としている。活動参加割合の低い20～30歳代に対し、DIY・リノベーションを切り口に事業展開することで、楽しく活動できるきっかけを提供する。今後、大学や地元企業などとも協力し、各種イベントを実施する予定。今後の詳細などは「リノベのいばらき」HPにて。

コミュニティサイト等における児童被害の現状

協力:大阪府警察



平成28年度のコミュニティサイト等が起因となった事犯の全国の被害児童数が、過去最多の1,736人となった。広く情報発信や同時に複数の友人等と交流する際に利用される「複数交流系」のサイトでの被害が大幅に増えたこともあり、児童買春及び児童ポルノの被害者が増加している。被害児童のアクセス手段は約9割がスマートフォンからで、そのうちの約9割が、ウェブなどを通じて悪影響を及ぼす有害な情報に触れたり、SNSなどでトラブルに巻き込まれることを防ぐ「フィルタリング」の設定を行っていなかった。

【保護者の方へ】

- インターネットの利用に関しては、ルールやモラルを守って子どもたちに利用させよう。
- 子どもたちに関わる大人たちが、子どもたちと共に考えていくことが大切。各家庭で親子で話し合いの場を設けよう。

【相談窓口】

大阪府警察本部 サイバー犯罪相談

http://www.police.pref.osaka.jp/05bouhan/high_tech/taisho01.html



大阪府警サイバー犯罪対策課では、インターネットの安全利用の啓発活動として様々なキャンペーンを実施している。10月6日のイベントでは、初音ミクを起用したオリジナル缶バッジを配布。詳しくは左記QRコードからアクセスを。